



# ユーザー目線の包装機械で 省力化・省人化を実現する

株式会社インターパック



海外メーカーへの出荷を控える包装機械。



さまざまな機械が組み立てられる工場内景。



極力シンプルな構造が現場で支持されている。



組み立てを行う従業員。若手の育成にも注力している。

代表取締役社長

古鎌昭博氏



食品から日用品、医薬品、電気製品、さらにはアルミサッシなどの建材まで多様な商品に対応する自動包装機械を製造するインターパック。ユーザーから高く支持される製品に込めた戦略とは。

## 完全オーダーメイドで ユーザーの要望を解決

インターパックは、主に生産工場の最終工程において、完成した製品の箱詰めや、包装を行う自動包装機械の専門メーカーである。

対応する製品の範囲は、カップ麺や袋麺、ボトル入り飲料・調味料などの食品関係をはじめ、ボックスステーションや洗剤・消臭剤といった家庭用品、医療品、電気機器、化学用品、建材、紙製品など、あらゆる分野に及び、またロボットパレタイザーや印刷関連機械など各種省力機械の製造販売も行っている。

「当社の機械は、ほぼすべてが一品一様のオーダーメイドでつくられています。営業から設計、製作、販売後のメンテナンスまで自社で一貫して行うので、お客さまのご要望に、きめ細かく迅速に対応することができると」と、古鎌昭博社長は、同社の強みを解説する。

こうした対応力の高さに加え、業リ、メンテナンスにも手間がかかるようになっては本末転倒である。「もちろん必要な部分には最新技術を導入しますが、従来のシンプルな構造や部品でも同等の性能を出せるのであれば、あえてそちらを採用するようになっています」

こうした人に優しい設計思想はユーザーの現場からも大きく支持されており、「同じような見積金額であれば『やはり使いやすいインターパックの製品が良い』と当社を選んでいただくお客さまが多いですね」と古鎌社長はその効果を強調する。

現在、同社は海外展開にも力を入れており、タイなどの東南アジアをはじめ、北米や南米ブラジルなどにも販路を広げている。

## 前後の工程まで含めた 自動化の提案を目指す

古鎌社長は自身の経営理念として「Simple, Speed, Smile」を掲げ、「ユルカク『ゆるやかに』、ユルソク『速く』、ユルスマイル『笑顔』という

界トップクラスの処理スピードを実現する優れた技術力が、ユーザーに評価されているという。

「完成した製品のケーシング（包装）やカートニング（箱詰め）といった包装工程は、お客さまの生産能力を左右する重要な部分です。常に技術的な研究・改良をくり返し、スピードアップを追求しています」と古鎌社長は話す。

## 現場ユーザーの目線で 使いやすさを徹底追求

さらに同社製品の最大の特長は、ユーザー目線に立った、徹底した使いやすさにある。古鎌社長は「使う人のことを第一に考えて、操作しやすく、トラブル時の対応やちょっとした手直しが現場でもできるような、極力シンプルな構造を追求しています」とその狙いを語る。

設計・製作を行う技術者の気持ちとしては、つい最新技術や新しい部品を採用したくなる。しかし、そのためにオペレーターの操作が複雑にな

気持ち大切にしています」と話す。

また、創業者から受け継いだ「初心を忘れず、人の和と感謝の心を大切に」という精神を常に心がけており、現場の従業員とは毎日コミュニケーションを密にはかることで、社内全体にも徹底しているという。

今後の目標について、古鎌社長は「現在はケーシングが主体ですが、これからはその前工程の作業や、後工程のロボット等によるパレタイジング（パレットへの積み込み）までを一貫してお客さまから受注製造できるような、提案力と技術力の向上を図っていきたくないと考えています」と語ってくれた。



company profile  
会社名：株式会社インターパック  
代表者：代表取締役社長 古鎌昭博  
設立：1969年  
事業内容：自動包装機械の設計・製作・販売  
所在地：埼玉県川口市上青木西1-13-28  
連絡先：Tel. 048-255-8040  
Fax. 048-255-0511

<http://inter-pack.com/>